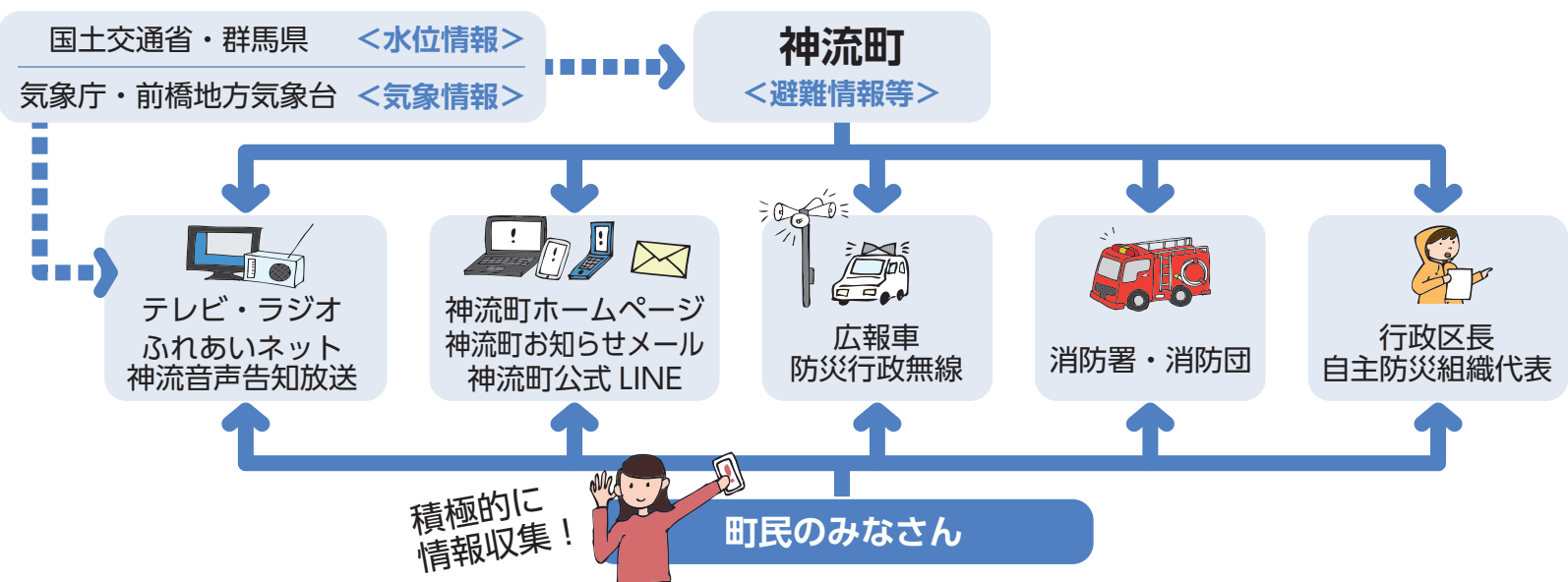


情報の取得方法 災害発生の危険が高まったときや災害発生時には、様々な方法で情報が発信されます。大切な情報を自ら入手できるよう、日ごろから確認しておきましょう。

情報の伝わり方



神流町お知らせメール 登録必要

PC・スマートフォン URL https://plus.sugumail.com/usr/kanna/home
フィーチャーフォン(ガラケー) URL https://m.sugumail.com/m/kanna/home

Email t-kanna@sg-p.jp
上記メールアドレス(右のQRコードで読み取れます)へ空メールを送信します。返信されたメールに記載されている手順に従って登録してください。

神流町公式LINE
LINEアプリを開いてQRコードを読み取って、友だち追加します。LINEにメッセージが届きますので、記載のURLに接続し、手順に従って登録してください。

ラジオで調べる

NHK 第1 [594kHz] NHK FM [85.9MHz]
FM ぐんま [88.0MHz]

気象庁ホームページ

URL https://www.jma.go.jp/

国土交通省川の防災情報

URL https://www.river.go.jp/

群馬県土砂災害警戒情報提供システム

URL https://www.dosya-gunma.jp/web_pub/

群馬県防災トップページ

URL https://www.pref.gunma.jp/05/a5510001.html

神流町ホームページ

URL http://www.town.kanna.gunma.jp/

緊急速報エリアメール (登録不要)

「避難指示」などの災害・避難情報ははじめとする緊急度の非常に高い情報を、町内エリアに一斉配信します。設定が必要な場合もありますので、詳しくは携帯電話会社各社にお問い合わせください。

テレビで調べる (データ放送)

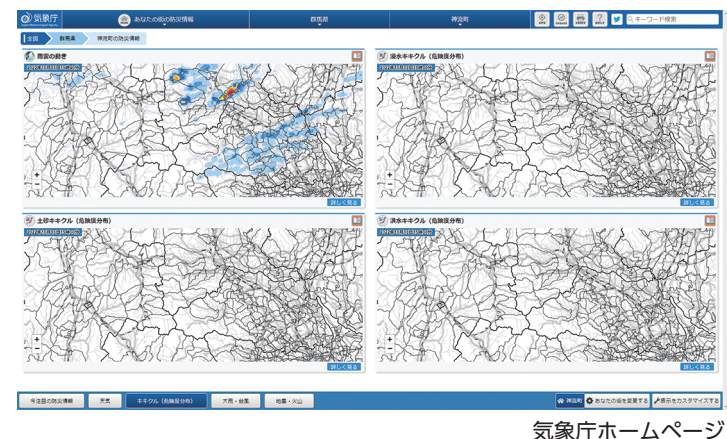
データ放送に対応しているテレビでは、NHK総合や群馬テレビを視聴中にiボタンを押すことで、避難情報や雨の情報、河川の水位情報等を確認することができます。

ふれあいネット神流音声告知放送

ケーブルテレビを通じて緊急情報を放送します。

周辺の雨や危険度を調べる

気象庁ホームページや、テレビのデータ放送で、リアルタイムの危険度分布や雨の様子(雨雲の動き・今後の雨)などを見ることができます。



気象庁ホームページ

気象情報 気象情報で水害のおそれがあると気づいたときは、避難情報が発令されていなくても避難を検討しましょう。

注意報・警報・特別警報

大雨などにより災害が起こるおそれがある場合、注意報や警報などの防災気象情報が発表されます。

大雨の状況 雨が強くなる、大雨が降り続く、さらに激しい大雨が続く。注意報、警報、特別警報の発表条件と内容の説明。

台風情報

台風は暴風や大雨等をもたらします。勢力が強くと、大きい台風が迫っている場合には特に注意が必要です。

記録的短時間大雨情報

その地域に浸水の発生につながるような、めったにない大雨が降っているときに発表されます。

土砂災害警戒情報

地域の雨量などを考慮して、土砂災害発生の危険性が高まった地域に対して発表されます。

土砂災害の予兆現象 土砂災害が発生する前には予兆現象が起きることがあります。発見したらただちに避難を開始しましょう。

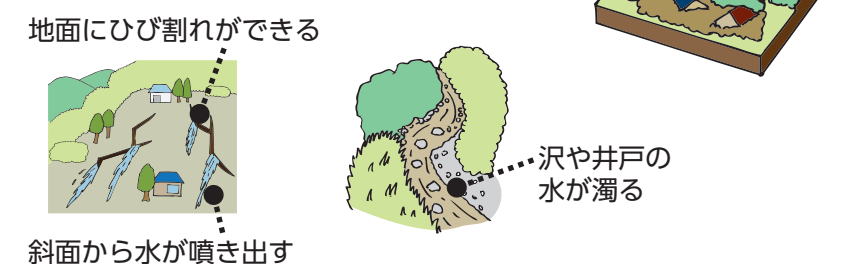
がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

地面にしみ込んだ水が斜面をゆるめ、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちること



地すべり

地下水などの影響により、地面が広い範囲にわたってゆっくりとすべり落ちること



土石流

山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されること



このほかにも...

- 地鳴り、木の根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
ものの腐ったようなにおい(腐葉土、肥やし)のにおいがする
小動物が異常行動(騒ぐなど)をとる

周辺の雨 土砂災害の多くは、水(降雨、地下水)が関与しています。自宅で雨量を計測する習慣をつけましょう。

降水量を自分で測る

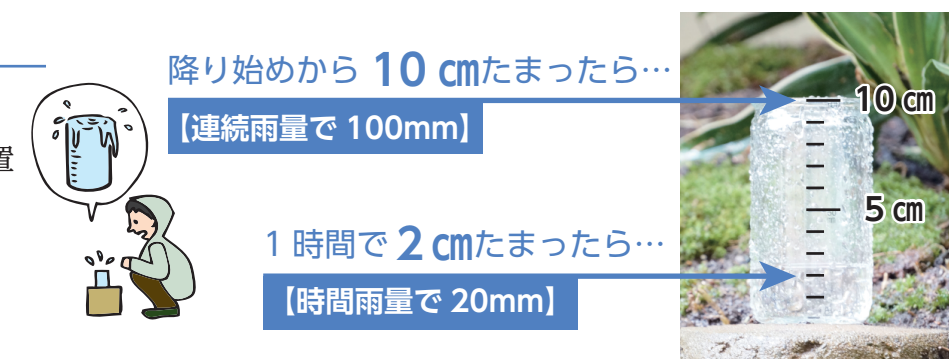
- 1 カップ酒のビン等の寸胴の容器にメモリをつける
2 地面で跳ねた雨が入らない高さで平らな場所に容器を設置
3 たまった水の深さを確認

降り始めから10cmたまったら...

[連続雨量で100mm]

1時間で2cmたまったら...

[時間雨量で20mm]



土砂災害の危険性が高まる目安

1時間に20mm以上の雨...車のワイパーを動かしても前が見えにくいほどの強い雨
連続雨量で100mm以上の雨...弱い雨でも長時間降り続けると、土砂災害の危険性が高まる